

# 理事会報告

会長 松永敏子

## 1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	平成25年5月16日	17	3	千葉県看護会館2階中研修室
第2回	平成25年6月19日	17	3	ホテルポートプラザちば2階ルビー
第3回	平成25年7月11日	17	3	千葉県看護会館2階中研修室
第4回	平成25年9月5日	19	3	千葉県看護会館2階中研修室
第5回	平成25年12月12日	18	3	京成ホテルミラマーレオーキッドルーム
第6回	平成26年2月13日	18	3	千葉県看護会館2階中研修室
第7回	平成26年3月19日	21	2	ホテルポートプラザちば2階パール

## 2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	平成25年 5月16日	議題 1 平成24年度事業報告について 2 平成24年度決算報告及び監査報告について（看護会館等の資産取得資金の積み立てについて） 3 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 4 平成25年度事業計画・収支予算の一部修正について 5 平成25年度改選役員等候補者について 6 平成25年度地区部会役員について 7 平成26年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の選出(変更)について 8 地区部会規程の改正について 9 平成25年度千葉県看護協会会長表彰について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 施設側の要望により修正（一部代議員の交代）により満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第2回	平成25年 6月19日	議題 1 副会長、専務理事、職能理事(保健師・助産師)の選定について 2 業務執行理事の選定及び業務分担について 3 理事会の議長(会長)に事故があった場合の議長について 4 平成25年度役員の仕事分担について 5 役員報酬額の決定について 6 職能委員会の運営について 7 常任委員会の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第3回	平成25年 7月11日	議題 1 職能委員会設置運営規程の改正について 2 地区部会役員の変更について 3 千葉県知事への要望について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 例年のとおり理事、地区部会長・施設代表者の意見等を吸い上げて調整のうえ、提出することとして承認</li> </ul>
第4回	平成25年 9月5日	議題 1 千葉県看護協会職員給与規程の改正について 2 看護師職能委員（増員3名）の選出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 議案一部修正（訪問看護手当の額を日額500円から月額1万円へ修正）のうえ承認</li> <li>• 満場一致で承認</li> </ul>
第5回	平成25年 12月12日	議題 1 平成25年度千葉県看護協会の収支予算の変更（補正予算）について 2 平成26年度事業計画基本方針（案）について（平成26年度千葉県看護協会スローガン及び重点事業） 3 もばら訪問看護ステーションの取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で承認</li> <li>• 会員向けに説明を補足することとし、満場一致で承認</li> <li>• 会員向けの説明を補足することとし、満場一致で承認</li> </ul>
第6回	平成26年 2月13日	議題 1 平成26年度事業計画について 2 平成26年度予算及び資金調達・設備投資の見込みについて 3 特定資産取得計画について 4 特定費用準備資金計画について 5 会費規程の改正について（年度途中で他県から移動してきた会員の年会費の免除について） 6 千葉県看護協会認定看護管理者制度教育課程運営規程の追加・修正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> <li>• 文言の一部修正のうえ満場一致で承認</li> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> </ul>
第7回	平成26年 3月19日	議題 1 平成26年度における千葉県看護協会の運営について（組織運営・運営体制等について） 2 平成26年度定時総会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> <li>• 満場一致で原案のとおり承認</li> </ul>

---

---

# 業務運営会議報告

会長 松永敏子

---

---

## 業務運営会議

### 1 【業務運営会議開催の目的】

柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、主に理事会へ提案する重要事項又は臨時の必要がある事項等、理事会へ提出する議案について事前に協議又は審議するため、会長、副会長、専務理事及び常任理事によって構成される。

### 2 【開催状況】

回数	開催日	協議事項	協議内容
第1回	平成25年 8月1日	千葉県知事への要望事項について	1 理事、地区部会長、会員等施設代表者からの意見を集約・整理したうえで要望事項をまとめる。
第2回	平成25年 12月3日	・平成26年度事業計画基本方針 ・もばら訪問看護ステーションの取扱いについて	1 平成26年度事業計画基本方針について（平成26年度千葉県看護協会スローガン及び重点事業） 2 もばら訪問看護ステーションの取扱いについて
第3回	平成26年 2月4日	・平成26年度事業計画について ・平成26年度収支予算及び資金調達と設備投資の見込みについて ・会費規程の改正について  ・千葉県看護協会認定看護管理者制度教育課程運営規程の追加・修正について	1 平成26年度事業計画(案)について 2 予算の大枠説明の内容について  3 会費規程の改正について(年度途中で他県から移動してきた会員の年会費の免除の規程を新設) 4 教育課程の修了要件について一部改正

# 地区部会長会報告

専務理事 澤田 いつ子

## 平成25年度 地区部会長会

回数	開催日	内容
第1回	平成24年 6月28日	I. 議題 1 平成25年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協会定款及び関連諸規程について (2) 千葉県看護協会組織・運営について (3) 事業計画について 2 地区部会活動について (1) 地区部会活動の役割等について (2) 地区部会の円滑な実施(事務処理等の取扱い)について (3) 平成24年度地区部会活動報告について (4) 平成25年度地区部会年間活動計画について II. 意見交換 第3次千葉県看護職定着・確保対策推進計画について
第2回	平成25年 10月10日	I. 議題 1 平成25年度地区部会事業の進捗状況について (1) 医療安全大会の開催について (2) 看護ちば「地区探訪」新規掲載について
第3回	平成26年 2月20日	I. 議題 1 平成26年度千葉県看護協会事業計画について 2 その他

## 平成25年度 地区部会会計担当者説明会

回数	開催日	内容
第1回	平成25年 4月18日	I. 議題 平成25年度地区部会に係る会計処理について II. 質疑応答

# 施設等会員代表者会報告

専務理事 澤田 いつ子

回数	開催日	場所	内容
第1回	平成25年 7月19日	ポートプラザ ちば 2階 ロイヤル	<p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成25年度千葉県看護協会の事業及び運営について</li> <li>2 第3次看護職定着・確保対策推進計画について</li> <li>3 その他</li> </ol> <p>II 実践報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「WLBへの取り組みと今後の展開～気づきと変化～」 東京湾岸リハビリテーション病院 看護部長 伊東 和子 氏</li> <li>2 「12時間勤務 ～一年間の取り組みと課題～」 千葉県済生会習志野病院 看護師長 戸塚 規枝 氏</li> </ol> <p>III 講演</p> <p>「夜勤交代制勤務に関するガイドラインを読み解く ～看護職が健康で安全に働き続けられるために～」 講師 公益社団法人日本看護協会 労働政策部専門職 奥村 元子 氏</p>
第2回	平成26年 3月19日	ポートプラザ ちば 2階 ロイヤル	<p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成26年度千葉県看護協会事業計画について</li> <li>2 平成26年度千葉県看護協会収支予算について</li> <li>3 研修会管理システムの変更について</li> <li>4 災害支援ナース登録システムの変更について</li> </ol> <p>II 実践報告</p> <p>「看護師特定能力認証制度について」 報告者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「看護師特定能力認証制度について」 日本医科大学千葉北総病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 光子 氏</li> <li>② 「東京ベイ・浦安市川医療センター」 診察看護師 筑井 菜々子 氏</li> </ol> <p>III 講演</p> <p>「平成26年度診療報酬改定について」 講師 厚生労働省保健局医療課 課長補佐 習田 由美子 氏</p>

---

---

# 職 能 委 員 会 報 告

---

---

## 保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 中 村 知 江

### I 活動目標

- 1 保健師間の連携を強化するためのネットワークづくりを図る
- 2 現任教育の活動基盤づくりを図る
- 3 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

### II 活動内容

- 1 保健師職能集会（三職能合同集会報告参照）

- 2 保健師活動交流会の開催

(1) 日 時 平成26年1月18日（土）13時から16時30分

(2) 会 場 千葉県看護会館

(3) テーマ 「保健師活動の原点 ―今、あらためて地区活動を考える―」

(4) ねらい 近年、健康問題の複雑・多様化とともに保健師の活動領域は拡大し、県も市町村でも分散配置が進んでいる。その結果、担当業務の専門性は高まった半面、地区をまるごと見て活動することが出来にくくなっている。自治体に働く保健師の活動の方向性を示す保健師活動指針が25年4月に10年ぶりに改定されたことを踏まえ、保健師活動の原点である地区活動について見直し、各所属で地区活動に取り組める体制を整える機会とする。

(5) 参加者 73名（職能委員・実践報告者を含む）

所属：市町村33・県及び保健所31・医療機関4・学校1・関係機関4

(6) 内 容

① 講 演 「保健師活動の原点 ―今、あらためて地区活動を考える―」

講師 公益社団法人日本看護協会 保健師職能委員長 中板育美 氏

② 実践報告 「地区活動の取り組み 保健師活動検討会から」

報告者 佐倉市健康子ども部健康増進課 主査補 戸村恵実 氏

「保健師活動の強みを生かした地域の防災意識向上への取り組み」

報告者 館山市健康福祉部健康課 副課長 上野澄子 氏

予防係 宮井利枝 氏

③ グループワーク

テーマ「地区活動を推進するために今からできること」

④ 講 演 「暴言・暴力から身を守る」―リスクマネジメント―

講師 公益社団法人日本看護協会 保健師職能委員長 中板育美 氏

(7) 総 括

講師から指針の発出に込められた思いや、指針を戦略的に生かす具体的な取り組みとして、「個人だけでなく家族や地域をみることで地域の底上げができる地区担当制の導入」「新任を計画的に採用し人材育成し活動を伝承できる体制の構築」「組織横断的に調整支援を行う統括保健師の配置」等が熱く語

られ、指針の理解が深まった。

実践報告では、分散配置されていても合同検討会を開催し、地区診断から見えた健康課題を、それぞれの部署で連携し成果を上げた報告と、3.11の東日本大震災以降に取り組んだ住民への防災意識向上のための地区担当制の強みを生かした活動が報告された。

グループワークでは講演や実践報告を受けて、今後取り組むべきことについて意見を交換した。

交流会のねらいであった、指針の普及と、指針を踏まえた保健師活動の原点である地区活動見直しのきっかけづくりに役立った。

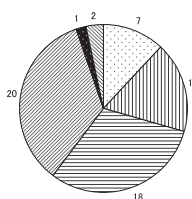
幅広い年齢層や多領域から、定員を超える参加者があり、関心の高さがうかがえた。

(8) アンケート結果

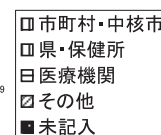
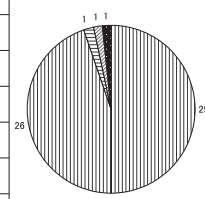
① 参加者73人 アンケート回収58人 回収率79.4%

② 年齢・所属

年代	人数
20代	7
30代	10
40代	18
50代	20
60代	1
未記入	2
合計	58

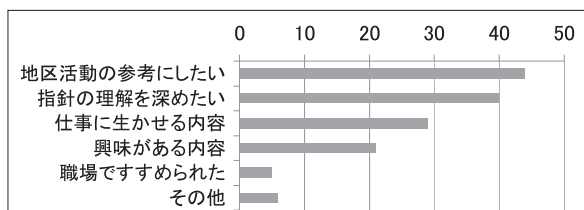


所属	人数
市町村・中核市	29
県・保健所	26
医療機関	1
その他	1
未記入	1
合計	58



③ 参加動機（複数回答）

地区活動の参考にしたい	44
指針の理解を深めたい	40
仕事に生かせる内容	29
興味がある内容	21
職場ですすすめられた	5
その他	6



④ 講演会について

参考になった	57
未記入	1
計	58

主な意見

- ・指針に対する理解が深まった（策定の経過・意図・活用方法など）
- ・保健師活動の基本の再確認の場になった
- ・地区活動の視点がずれそうになっていたがタイミングよく話が聞けて良かった
- ・統轄保健師の役割を果したい（技術を学ぶ・後輩への伝承）
- ・県で指針の作成をしてほしい
- ・県内で議論と活動の行える施策作りを要望
- ・保健所保健師への期待はなんなのか考えていきたい

時間について

足りない	43
ちょうど良い	11
未記入	4
計	58

⑤ 実践報告について主な意見

参考になった	55
どちらとも言えない	2
未記入	1
計	58

主な意見

- ・具体的な内容で、指針に照らし合わせて聞けた。業務に役立つ
- ・地区診断や所属を超えた検討会を行い結果を出す過程が参考になった
- ・地区診断をしっかりやりたい。地域をどう見ていくかの参考になった
- ・佐倉市のフェイスシートが参考になった
- ・PDCAサイクルの実践が参考になった
- ・事務職同僚に保健師活動を理解してもらうため災害を切り口にするとう効果的だと思った
- ・市町村の地区活動の実際が学べた
- ・保健所の報告がなくて残念

時間について

足りない	43
ちょうど良い	11
未記入	4
計	58

⑥ グループ討議について

参考になった	47
どちらとも言えない	6
未記入	5
計	58

主な意見

- ・もう少しゆっくり話し合う時間がほしかった
- ・市の立場・県の立場から話が聞け良かった(所属・年代の思い)
- ・参考になり自己啓発につながった
- ・地域性もありさまざまな意見を聞いた。活動に生かしたい
- ・前向きというより現状報告が多かった

時間について

足りない	49
ちょうど良い	5
未記入	4
計	58

⑦ 今回の交流会を踏まえて各所属で取り組みたいこと（項目に分け意見をまとめた）

- ア 指針について：再度読込む・共通理解が必要・意見の交換が必要・県保健師の役割をあらためて理解したい  
管内統括保健師と共有し広げていく
- イ 地区診断について：シートの話し合いの場の設定が必要。部門を超えて行う必要がある  
地区診断と事業評価を行い多職種に説明できる能力を身につける  
地域全体を考え優先順位を話し合う。保健師活動を話し合う。
- ウ 地区活動について：住民と接する時間を増やす・PDCAサイクルの振り返り・住民の声を聞く  
管内市の健康課題をアンテナ高く収集し、事業に活用し協働できる関係作りをしたい
- エ 統轄保健師について：検討会の継続・事務分掌へ明記されるよう努力する
- オ 連携について：他課との話し合い・市町村との連携・他課の業務を学ぶ
- カ 検討会について：保健分野と多分野配置の検討・横断的な会議の開催・情報の共有
- キ その他 現任教育、人材育成計画を話し合う  
先進的な報告を職場の仲間にも知らせたい  
事務職の上司に保健師活動を理解してもらえる知識とスキルを磨く  
要受診をフォローし、重大疾患にならないよう個別アプローチをする（健診機関に勤務）

⑧ 今後の研修会の企画・保健師職能委員会への要望

- 先駆的な活動の報告。会員に活動が見えるようなアプローチの検討
- 病院保健師や産業保健師が来て良かったという研修
- トピックス的な研修
- 保健所と市町村の協議について検討、研修、実践の研修
- 県内の保健師の各団体が話し合いの場をもつように検討できると良い
- 千葉県健康課題に沿った地区診断の話
- 中板先生の話を知りたい
- 地区診断、事例検討時のスーパーバイザーのリストアップ
- 保健師による人材育成、教育について
- 内容が盛りだくさんでどの内容も時間が足りない

3 保健師職能だよりの発行

- (1) 平成25年度 夏号
- (2) 平成25年度 冬号



#### 4 看護の日の集いに参加

- (1) 日 時 平成25年5月12日(日)  
 (2) 場 所 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>  
 (3) 内 容 健康相談・模擬体験・進路相談

#### 5 保健師職能委員長の各団体への参加・協力

- (1) 千葉県看護協会事業への参加・協力：役員会・理事会・施設代表者会議  
 (2) 日本看護協会事業への参加・協力：全国・地区別職能委員長会議・保健師活動強化戦略会議等参加・保健師活動指針方略ガイド作成に協力

### Ⅲ 保健師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成25年 7月5日	1. 委員会活動計画 2. 保健師職能だよりの検討 3. 三職能合同集会の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年間計画の検討</li> <li>• 作成・委員の役割担当について</li> <li>• 三職能合同集会の詳細内容検討</li> </ul>
第2回	8月12日	1. 保健師活動強化戦略会議報告 2. 全国職能委員長会議報告 3. 保健師職能だよりの検討 4. 保健師活動交流会の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健師職能だより内容検討</li> <li>• 保健師活動交流会の検討</li> </ul>
第3回	9月21日	1. 保健師活動交流会の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健師活動交流会の詳細検討</li> </ul>
第4回	10月22日	1. 地区別職能委員長会の報告 2. 保健師活動交流会の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保健師活動強化・体制確保のための方略ガイド(仮)検討</li> <li>• 保健師交流会の詳細検討</li> </ul>
第5回	12月24日	1. 保健師活動交流会の検討 2. 保健師職能だより報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成26年度事業計画(基本方針)について</li> <li>• 保健師活動交流会の最終調整</li> <li>• 職能だよりの報告</li> </ul>
第6回	平成26年 2月12日	1. 保健師活動交流会の評価 2. 平成26年度委員会活動計画の検討 3. 平成26年度「看護の日」の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成26年度職能委員会重点項目の検討</li> <li>• 保健師活動交流会の評価</li> <li>• 平成26年度「看護の日」の検討</li> </ul>
第7回	3月17日	1. 全国職能委員長会議等報告 2. 平成25年度委員会活動実績 3. 平成26年度委員会活動計画 4. 平成26年度「看護の日」の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成25年度活動実績のまとめ</li> <li>• 平成26年度保健師職能委員会活動の検討</li> <li>• 「看護の日」の役割について</li> </ul>

#### IV 保健師職能委員会活動計画

項目	内容	
活動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師の資質向上と保健師間の連携を強化するためのネットワークづくり</li> <li>2. 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進</li> <li>3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る</li> </ol>	
委員会 開催予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師職能委員会 年8回</li> <li>2. 三職能合同委員会 年2回</li> </ol>	
検討事項 (活動内容)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師の資質向上と保健師間の連携を強化するためのネットワークづくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健師職能集会・活動交流会の開催</li> <li>(2) 関係機関との情報交換会の開催</li> <li>(3) 日本看護協会（保健師職能委員会）との連携</li> </ol> </li> <li>2. 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 統括的な役割を果たす保健師の配置の把握</li> <li>(2) 方略ガイドの周知等による配置の促進</li> </ol> </li> <li>3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップする               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職能委員会活動の周知</li> <li>(2) 保健師職能だよりの発行</li> </ol> </li> </ol>	
交流会等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政以外の領域に働く保健師との交流会の企画と開催</li> </ol>	
職能集会 の持ち方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度活動実績報告</li> <li>2. 本年度活動方針について報告</li> <li>3. 講演会又はシンポジウム等の開催</li> <li>4. 意見交換</li> </ol>	
三職能合 同委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三職能共通の課題の検討</li> <li>2. 職能集会資料の作成</li> </ol>	
その他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告</li> <li>2. 日本看護協会総会（全国保健師職能集会）</li> <li>3. 都道府県職能委員長会議 年2回</li> <li>4. 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会 年1回</li> </ol>
	印刷物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健師職能だより</li> <li>2. 職能集会資料</li> </ol>
	その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会事業への参加・協力</li> <li>2. 千葉県小児保健協会への参画</li> </ol>

千葉県看護協会  
**保健師職能だより**  
平成25年度 夏号

**平成25年度 保健師職能委員会**

本委員会は職能上の問題を審議し会長に助言する役割を果たします

**活動計画**

- 保健師間の連携を強化するためのネットワークの構築 (保健師職能集會・活動交流会の開催 等)
- 現任教育の活動基盤づくり (保健師活動指針の周知、現任教育のための研修の開催)
- 会員数を増やし、保健師職能の組織力をアップ (会員・非会員への活動の周知・保健師職能だよりの発行)

**委員紹介**

～協力ではありますがこの7名で頑張ります～

委員長 中村知江 (松戸健康福祉センター)  
副委員長 市川滋子 (印旛健康福祉センター)  
委員 島村美恵子 (佐倉市)  
土屋裕子 (横芝光町)  
河野幸子 (船 健健づくり支援課)  
小島玲子 (安房健康福祉センター)  
塚田真道 (市原健康福祉センター)

**日本看護協会主催 全国保健師職能委員長会 報告**

日時：平成25年8月2日(金)  
場所：青山ダイヤモンドホール

- 25年度委員会活動の計画や保健師関連事業の報告
- 講演「保健師活動指針の普及と実践に向けて」
- 情報提供「市町村保健活動のあり方に関する検討」
- グループ討議「指針の活用・推進に向けて、どのように戦略的に動くのか、動かすのか」

☆山田委員長は講演の冒頭に、指針改定の過程で全国の保健師職能委員長等から活発な議論や提言を頂いたことに対するお礼とともに、10年ぶりに改定された指針をてこに、保健師活動の活性化を期待しているとの挨拶がありました。

☆「保健師活動指針」については裏面の特集に掲載しています。

**保・助・看 合同職能集會のお知らせ**

医療や地域保健を担う看護職ですが、お互いの活動や役割が理解されていないと感じることはありませんか？母子保健法の改正に伴い病院、地域、市町村の看護職の連携が一層求められています。

日時 平成25年9月21日(土) 午前10時～午後3時30分  
場所 千葉県看護会館

- 母子保健法の改正と看護職連携 千葉県児童家庭課
- パネルディスカッション ～妊娠・出産～子育てまでをつなぐ看護職連携
- 助産師・小児科看護師・訪問看護ステーション・保健師のパネルが提言
- 講演「愛と希望の看護 ～あなたの笑顔でハッピーに！～」

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1  
テルモ株式会社 取締役 副社長

申し込みは9月10日まで  
まだ間に合います

☆詳しくはすでに配布のチラシをご覧ください。

**特集** **ご存じですか？**

**保健師活動指針が10年ぶりに改定されました**

改定内容について、8月1日に行われた「保健師活動強化戦略会議」中板保健師職能委員長の講義資料から抜粋して報告します。通知文の記を読み解きました。  
※おことわり：アンダーラインは今回の改定箇所です。本だよりの編集委員がわかりやすくするために引いています。

**地域における保健師の保健活動について**  
(平成25年4月19日付健発0419第1号 厚生労働省健康局長通知)

**記の1 体制整備**

- 地域保健関連施策の企画・立案・実施・評価、直轄的な保健サービス等の提供、住民の主体的活動の支援、災害時支援、健康危機管理、関係機関とのネットワークづくり、包括的なシステムの構築等を実施できるような体制の整備
- 保健衛生部門における地区担当制の推進
- 各種保健医療福祉計画策定等への関与

**記の2 人材確保**

- 保健師の計画的かつ継続的な確保
- 地方交付税の算定基礎となっていることへの留意

**記の3 人材配置**

- 保健、医療、福祉、介護等の関係部門への適切な配置
- 保健師の保健活動を組織機能的に総合調整及び推進し、技術的及び専門的側面から担う役割を担う部署を保健衛生部門等に明確に位置付け、保健師を配置

**記の4 人材育成**

- 各地方公共団体において策定した人材育成指針による体系的な実施
- 新任期の保健師については「新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～」に基づき、各地方公共団体における研修体制の整備
- 日々進展する保健、医療、福祉、介護等に関する知識及び技術、連携及び調整に係る能力、行政運営や評価に関する能力の養成

**新たな保健師活動指針 見直しのポイント**

- 局長通知の一本化
- 保健師の保健活動の基本的な方向性の整理
- 地区担当制の推進や統一的な役割を担う保健師等の明示
- 福祉分野及び介護保険分野の各領域への吸収

この指針を、今後の保健活動に活用するために

- ・通知と指針を読んでみましょう
- ・それぞれの地域や組織の実情を踏まえ、保健活動のあり方や方向性を考えてみましょう

**保健師活動強化戦略会議**ではこのほかに、保健師活動の人・物(活動・事業)・金をわかりやすく説明できる「業務量推計チャート」作成の報告(日本看護協会 橋本結花氏)や、「地方交付税を活用した保健師の確保」について東北大学客員教授平野かよ子氏の講演がありました。

**看護協会入会のご案内**

保健師職能委員長会では、保健師職能だよりによる情報発信や研修会等を行っています。県内に勤務又は居住する看護職であればいつでも加入できます。詳しくは協会HP <http://www.cna.or.jp/> をご覧ください。

千葉県看護協会  
**保健師職能だより**  
平成25年度 冬号

**25年度 保健師・助産師・看護師合同職能集會報告**

お彼岸にも関わらず・・・  
☆平成25年9月21日(土)に開催され76名の参加がありました！  
保健師の参加は22名でした。(市町村8保健所10政令市・中核市1県庁3)

○挨拶 松永会長  
○平成24年度保健師・助産師・看護師職能委員会活動並びに25年度活動計画  
●報告 「母子保健法の改正と看護職連携」  
講師：千葉県健康福祉部児童家庭課 母子保健班 班長 鈴木 藤子氏  
●パネルディスカッション  
「妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携」  
座長 松戸健康福祉センター地域保健課 副主任 寺島正子氏  
パネラー 助産師：東京歯科大学市川総合病院 看護部長 豊谷順子氏  
小児科看護師：社会保険船橋中央病院 看護部長 関津貴子氏  
訪問看護：訪問看護ステーションあおそら 所長 井川夏美氏  
市町村保健師：横芝光町健康管理課副主任 土屋裕子氏

●講演  
「愛と希望の看護 ～あなたの笑顔でハッピーに！～」  
講師 テルモ株式会社 取締役 副社長執行役員 松村啓史氏

**アンケートの声から**

☆県から市町村に移された部分を詳しく理解できました。(助・看・保)  
☆保健師の職能は今後どのようにしていけばよいのか考えさせられた。  
☆個々の職種の立場から聞くことで改めて連携の必要があると思えた(保)  
☆病院勤務だが地域と連携しているため、患者本人の訴えを聞いてawと協力して関わっていくことと思う(看)  
☆自分の知らない地域での動きが分かり触れになった。三職能が集まってとてもよかった。  
☆講演で元気をもらえた。日頃の生活に転がっている幸せを見た気がします。

平成25年度保健師活動交流会

新指針の生みの親：日本看護協会保健師職能委員長 中板育美氏が千葉県内の保健師に熱く語ります。  
お見逃しなく☆

テーマ「保健師活動の原点 今あらためて 地区活動を考える」

○日時 平成26年1月18日(土)  
午後1時～4時15分受付：12:30～

○場所 千葉県看護会館 2階 中研修室

○対象 千葉県内在住・在勤の保健師  
☆千葉県看護協会会員でない方の参加もOK!  
お申込みはすでに配布のチラシをご覧ください

○講演  
「保健師活動の原点 今あらためて地区活動を考える」  
—保健師活動指針の改定を踏まえて—  
講師 公益社団法人 日本看護協会  
保健師職能委員長 中板 育美氏

☆先生は「地域における保健師の保健活動指針に関する検討会の委員であり全国の現場から保健師の声を集め指針に反映させるため奔走されました。

○実践報告  
佐倉市 「佐倉市の地区診断と地区活動計画」  
館山市 「保健師活動の強みを生かした地域の防災意識向上への取り組み」

地域での健康問題をどう捉え保健師として現場での地区活動に力を注いでいる市町村保健師の現場での実践報告です。保健師の地区活動の大切さ、面白さを自分達の実践に活かしませんか。「たこつぼの中では保健師は育ちません」所属を越えて交流しましょう。

**看護協会入会のご案内** 自分の視野を広げ、ともに仲間を作りたいなら

保健師職能委員長会では、保健師職能だよりによる情報発信や研修会等を行っています。県内に勤務又は居住する看護職であればいつでも加入できます。詳しくは協会HP <http://www.cna.or.jp/> をご覧ください。

# 助産師職能委員会

委員長 橋野恭子

## I 活動目標

1. 県民が安全にかつ安心して妊娠、出産、育児ができるように、助産師の専門性を発揮し、質の高い助産ケアを提供する
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する

## II 活動内容

### 1. 三職能合同集会

日 時：平成25年9月21日（土）10：00～16：00

場 所：千葉県看護会館 大研修室

参加者数：助産師職23名（委員7名含む）

テーマ：『あなたの笑顔でハッピーに』

パネルディスカッション：「妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携」

講演：「愛と希望の看護～あなたの笑顔でハッピーに！～」

プログラム及びアンケート結果については看護師職能委員会を参照のこと

総括：助産師の参加は通常時の助産師職能集会開催時より若干少なかった。参加者の意見として三職能の連携の重要性と具体的にどのように連携をすればよいかなどを知る機会となった。また地域ごとに継続した活動が続けようという提案や、地区担当の保健師と施設助産師たちの会場での紹介確認を行うなど有意義な交流会となった。この契機をいかに絶やさずに今後につなげていくかが課題である。

### 2. 産科看護管理者交流集会

日 時：平成25年10月30日（水）10：00～16：30

場 所：千葉県看護協会 中研修室

参加者数：32名（職能委員6名含む）

テーマ：『魅力ある助産ケアを提供していくために』

～助産ケアの均一化と助産師の能力の見える化～

趣旨：現在県内の分娩施設においては、分娩件数当たりの助産師数が全国でも非常に少ないことに加えて助産師の就業場所が偏在していること、助産外来は増加しているものの院内助産は非常に少ないこと、産科混合病棟におけるスタッフ教育等が課題として挙げられる。助産師としてのキャリアをアップし、すべての妊産褥婦・新生児に魅力ある助産ケアを提供していくために、さらなる産科管理が求められている。

この産科管理者交流会を通じ、助産ケアの質の均一化ならびに助産師の能力の見える化のために「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の活用」について、また「助産師の出向システム」について最新の情報を得るとともに、皆様方の分娩施設の状況や日ごろの取り組み、今後の課題解決にむけての情報交換を行いたい。更に産科管理者の方々が互いに情報共有をし、千葉県看護協会からも情報をよりスムーズに提供できるよう、ネットワークづくりについても提案していきたい。

プログラムの概要（9：30～受付開始）

10：00～10：15 オリエンテーション、助産師職能委員長挨拶

10：15～11：00 出席者の自己紹介

- 11:00～12:00 講演「助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の活用」  
 講師：獨協医科大学病院 副院長・看護部長  
 日本助産師職能副委員長 佐山 静江 氏
- 13:00～15:30 ○話題提供：「出向システム調査における千葉県の現状と課題」  
 「出向システムの実際と課題」 橋野委員長  
 ・出向を受けた経験から 総合病院国保旭中央病院 古畑職能委員  
 ・出向した経験から 社会保険船橋中央病院 鈴木職能委員
- グループディスカッション  
 「分娩施設の状況と課題、魅力あるケアを提供できる助産師の能力をアップするために」
- 15:30～16:30 まとめ

平成25年度産科看護管理者交流集会アンケート結果

アンケート回収：24名/26名中（回収率 92%）

(1) あなたの年齢を教えてください

30代	40代	50代	60代	無回答
2名	16名	5名	1名	0名

(2) あなたの職種を教えてください

助産師	看護師	保健師	無回答
23名	1名	0名	0名

(3) あなたの職位を教えてください

看護部長	師長	主任	教員	看護係長	その他	無回答
1名	12名	7名	2名	1名	1名	0名

(4) 産科看護管理者としての経験年数を教えてください

1～5年	6～10年	11～15年	16年以上	無回答
10名	4名	3名	5名	2名

(5) 開催時期は適切でしたか？その理由をご記入ください

はい	いいえ	無回答
23名	0名	1名

理由：はい

- ・ちょうど次年度ラダー作成中だったため：2人
- ・上半期の評価が終わり、下半期の計画に生かせる
- ・中間評価前で評価基準が明確化した
- ・勤務調整のしやすい時期（夏・冬休みと重ならない）
- ・主任になったばかりで県全体のこと、当院の位置、他院の状況や課題・役割など知る機会になった
- ・来年度の教育を考えるためにとってもよい時期だった

- ・教育担当が悩んでいたので情報提供でき良かった。タイムリーな課題だった

(6) 開催時間は適当でしたか？その理由をご記入ください

はい	いいえ	無回答
21名	1名	2名

理由：はい

- ・1日であったがラダーの勉強になった。今後に活用したい
- ・1日で充実していた(会議のない日で良かった)時間をかけてくれてよかった：2名
- ・かなりタイトだったが得られるものが多く妥当、時間を融通しながら開催することができた：2名
- ・朝から行けてよかった(出勤してから途中で研修に出るのは大変なので)
- ・開始時間・終了時間ともに余裕がありよかった
- ・グループワークもあり、情報交換ができ有効だった。できることからやってみたい

理由：いいえ

- ・午後だけでよかったかも。内容を凝縮し、GWを少しで

(7) 講演について、満足度とその理由をご記入ください

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
19名	3名	0名	0名	2名

理由：満足

- ・教育の現状やスキルアップにつながる内容で良かった
- ・今の現状がわかりやすく理解できた、ラダー・出向について学べた：3名
- ・知りたい情報を聞くことができた
- ・出向システムの活用でいろいろな可能性があると思う
- ・書面だけでわかりにくいところが説明していただけたのでよかった
- ・講義がわかりやすかった
- ・ラダーが活用されるとどの病院に行ってもその個人の能力が具体的にわかるので教育も行いやすくなると思った。また目標ができることで1人1人のモチベーションも上がり未長く助産ケアに関わっていけると思う
- ・日看協の努力を感じ、ALL JAPANが実現できるよう微力ながらがんばります
- ・教育の現状やスキルアップに繋がる内容で良かった

理由：やや満足

- ・もりだくさんだった

(8) 話題提供・GWに対する満足度とその理由をご記入ください

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
16名	4名	0名	0名	4名

理由：満足

- ・他施設の状況把握ができたのでよかった、学び・参考になった：8名

- ・情報収集できた
- ・教育の課題が見えた（ラダー・新生児対応）
- ・グループメンバーが同じような問題を抱えていて話しやすかった
- ・橋野委員長のデータがとても参考になった
- ・出向システムについても双方の意見が聞けてよかった
- ・ラダーの活用の実際、出向のメリットが良くわかった

(9) 看護管理に生かせる内容だったか、その理由もご記入ください

とても	やや生かせる	あまり	生かせない	無回答
15名	4名	0名	0名	5名

理由：とても

- ・助産師ラダーの活用・見直し：7名
- ・一から作っているところなので勉強になった
- ・病棟運営に生かしていけると思う
- ・師長代理で出席したのでぜひ報告したい
- ・出向はすぐには難しいが…。今までより理解を深めることができた

(10) この交流会は、今後の産科看護管理者同士のネットワークづくりに活用できそうですか？

はい	いいえ	無回答
15名	3名	6名

理由：はい

- ・近々の情報共有
- ・近隣の施設の方々とコミュニケーションがとれた
- ・非常に有意義な時間だった

理由：いいえ

- ・お互いの連絡先がわかると良い
- ・分娩数の多いクリニックの管理者が欠席だったため
- ・本日出席したのが主任だったため
- ・顔見知りになっても接点が続かないためネットワークまでいかない

(11) 取り上げてほしいテーマ

- ・地域に向けた助産活動
- ・BFHについて
- ・ラダーの評価
- ・助産師職能委員の内容を病院管理者向けに講演してほしい
- ・診療所の管理者も交流集会に来てもらえるともっと良いものになるのではと思った

(12) 職能委員会から看護協会に提言してほしいこと、現状の課題として感じていること等

- ・看護必要度など

- ・一分娩一人以上の助産師の配置・助産師の適正配置 2名
- ・混合病棟における病床管理、助産師の業務量の考え方（看護師の管理者に理解してほしい）
- ・ラダー活用の重要性が理解できた。取り入れられる部分は取り入れながらテーマである魅力ある助産ケアを提供できるようにしていきたい

●総括：平成25年度に全国助産師のクリニカルラダーが提示され、よりラダーへの関心・意識が上がってきている。今回交流集会における討議テーマの事前調査の結果でも、助産実践能力の「ラダー」に関するものが最上位を占め、逆に聞きなれないという「助産師出向」に関するものは最下位を占めた。しかし本会終了後は、ラダーと助産師出向は関連しており、キャリアアップには必要であるという理解を得ることができた。より良い助産ケアを提供のため、助産師の資質向上のための具体的な働きかけが今後ますます求められる。

### 3. 平成25年度 中堅助産師交流集会

日 時：平成26年1月30日（木）13：00 ～ 16：30

場 所：千葉県看護会館 中研修室

参加者：18名（職能委員6名含む）

テーマ：『魅力ある助産ケアを提供していくために』

—最新不妊治療の現状の理解とその後の女性とその家族への妊娠・出産・育児支援へのあり方を考える—

趣 旨：現在は7組に1組のカップルが不妊と言われ高度生殖医療技術により誕生する子どもは55人に1人と、年々増加傾向にある。不妊症を乗り越えて妊娠、出産、育児期にある対象の方々には、いろいろな思いを抱え、周囲の期待や関係性のなかで生活している。その妊産褥婦・育児支援に携わる私たち助産師は、対象の主体性を尊重し安全・安心で個性性を重視した助産ケアを、家族を含めて提供していくことが求められている。

今回、より専門的な知識を学び、不妊症の方の心理的、身体的側面の理解を深め、自分達の看護について考える機会とした。さらに中堅助産師同士の交流を図り、日常のケアを魅力あるものにするための機会に繋がられるようにしたい。

プログラム（12：30～ 受付開始）

13：00～13：15 オリエンテーション、助産師職能委員長挨拶

13：15～14：45 講演「最新不妊治療の現状の理解とその後の女性とその家族への妊娠・出産・育児支援へのあり方を考える」

講 師：東邦大学医療センター佐倉病院 不妊症看護認定看護師 藤島由美子 氏

15：00～16：15 グループディスカッション

「自分たちの助産ケアの現状と今後のキャリアアップへの課題と方向性を見出す」

16：15～16：35 まとめ、アンケート記入終了

平成25年度中堅助産師交流会アンケート結果

アンケート回収数：11名/12名中（回収率：92%）

#### (1) 年代

20代	30代	40代	50代
3名	1名	6名	1名



(2) 職位

主任	副主任	スタッフ
3名	1名	7名

(3) 助産師経験年数

4～6年	7～10年	11～15年	16年以上
5名	1名	2名	3名

(4) 交流会の開催時期は適応か

はい	いいえ
11名	0名

- ・毎年同じ時期に計画されているので参加しやすい

(5) 講演の満足度

満足	やや満足	未記入
8名	2名	1名

- ・大変勉強になった
- ・とてもわかりやすかった
- ・不妊治療後の妊婦が増えている中で不妊治療中のステップアップについて具体的

(6) 講演内容は、今後の助産師業務の参考になりそうか

とても参考になる	参考になる	未記入
8名	2名	1名

- ・今まで何となくしかわかっていなかったことが理解できた

(7) 参加者間での交流は図れたか

よく図れた	図れた	未記入
6名	4名	1名

- ・とても色々な意見がきけてよかった
- ・ストレス解消にもなった

(8) 業務遂行上、および助産師を継続する上での課題、困っていること、悩んでいること

(複数回答可)

業務	教育	自己のキャリアアップ	ワークライフバランス	その他
5名	4名	5名	4名	1名

具体的内容

- ・学生、新人の教育について

- ・今どきの子とのつきあい方
- ・自己のキャリアアップを今後も考えていきたいです
- ・家事、子育てとの両立

総括：今回最新の不妊ケアをテーマに交流会を開催したが昨年に比べ大幅に参加者が減少した。理由はアナウンスが遅くなり、内容の広報が不十分であったためである。昨年に引き続きさまざまなフィールドで働く助産師に来てもらうためには、テーマの検討はもちろん、早い時期にテーマを決め、アナウンスしていく必要がある。参加者はそれなりの成果を実感、交流を図りリフレッシュしているので、参加すればよかったと思うようなアフター情報やメッセージ発信が必要である。情報を集約する場でもあるため参加してもらう為に発信することが課題。

#### 4. 新人助産師交流会

今年度も教育部が企画する新人助産師研修内（リフレクション等）に組み込み、新人助産師の交流を図った。

#### 5. 「国際助産師の日」企画・開催

- (1) 日時：平成25年5月12日（日）12：30～16：00
- (2) 会場：アパホテル&リゾート・東京ベイ幕張
- (3) 内容：今年度「看護の日」のテーマに合わせ、「産後うつ」「マタニティブルー」の理解、「ゆさぶられっこ症候群」に関するDVD上映を追加。助産師の活動内容や県内産科施設のポスターによる紹介、マタニティライフと育児を楽しむための展示（マタニティウェア・育児便利グッズ・災害用品）や体験（妊婦体験・沐浴）、進路相談・育児相談を実施

#### 6. 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）

活用ガイド（日本看護協会作成）「助産師クリニカルラダーの指針」（千葉県看護協会作成）の整合性を図り、その普及推進を行った。及び「助産師が安心して助産ケアを行うための体制づくり」の助産マニュアルの見直し実施

#### 7. 周産期おける災害対策について

「分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド」（日本看護協会作成）を活用し自施設に適した災害マニュアルの作成の推進を図った。

#### 8. 千葉県看護協会事業への参加・協力

- (1) 通常総会、役員会、理事会、施設代表者会への出席
- (2) 助産師出向支援モデル事業実施への支援

#### 9. 平成25年度千葉県看護協会教育研修計画への提言

#### 10. 日本看護協会事業への参加・協力

都道府県助産師職能委員長会への出席、地区別都道府県助産師職能委員長会への出席

### Ⅲ 助産師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	8月28日	1. 助産師職能委員会年間活動計画及び確認 2. 活動日程の調整 3. 検討事項の具体的な取り組みについて 4. 産科管理者交流会の企画立案 5. 三職能合同集会役割分担 6. その他：全国職能委員長会議報告	
	9月21日	○ 三職能合同集会開催	
	10月30日	○ 産科管理者交流会開催	
第2回	11月28日	1. 産科管理者交流会の評価 2. 中堅助産師交流会の企画立案 3. 三職能合同集会の評価 4. 助産業務マニュアルの検討	
第3回	12月18日	1. 助産師職能委員会活動の中間評価 2. 平成26年度助産師職能委員会活動計画 3. 中堅助産師交流会企画・運営の検討 4. 助産業務マニュアルの検討 5. 助産師出向モデル事業の取組検討 6. 新人助産師研修プログラムについての提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度助産師職能委員会活動中間報告書、及び活動計画書提出</li> </ul>
第4回	平成26年 1月30日	1. 中堅助産師交流会開催準備 2. 国際助産師の日の企画検討 3. 助産師出向モデル事業の進捗状況報告	
	午後～	○ 中堅助産師交流会	
第5回	2月4日	1. 中堅助産師交流会の評価 2. 平成26年度活動計画案再検討 3. 「国際助産師の日」企画・運営上の課題と対策検討 4. 助産業務マニュアルの進行状況確認	
第6回	3月18日 午後半日～	1. 今年度の活動全体の評価と次年度課題 2. 平成25年度委員会活動計画作成 3. 「国際助産師の日」企画・運営の具体化検討 4. その他：全国職能委員長会議報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度助産師職能委員会活動まとめの報告書提出</li> </ul>

三職能合同委員会 : 開催日 平成25年7月5日 15:00～17:00  
議 事 平成25年度 三職能合同集会のありかたについて 他

IV 平成26年度 助産師職能委員会 活動計画

項 目	内 容
活 動 目 標	1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。 2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。
委員会開催予定	1. 助産師職能委員会 年 6回程度 2. 三職能合同委員会 年 2回
検討事項及び方法	1. 実践能力の向上 (1) 標準化 ①「助産師が安心して助産ケアを行うための体制づくり」等のマニュアルの完成 ②感染管理のガイドラインの着手 (2) 質の向上 ①助産師ラダーの普及、推進 ②助産師出向システム構築の支援 ③教育部への研修に関する提案 2. 専門性の発揮 (1) 院内助産推進のための研修の提案・提言、阻害要因の明確化 (2) 混合ユニットマネジメント導入の推進 (3) 適正配置の検討 3. 県内の助産師職能の組織力の強化 (1) キャリア及び施設の特性に応じた助産師の情報交換と交流の推進 (2) ネットワークの構築 (3) ホームページを活用した情報提供 4. 国際助産師の日の企画・運営
交 流 会 等	1. 産科病棟看護管理者交流会の企画・開催 2. 新人助産師交流会（新人助産師研修会への参画） 3. 中堅助産師交流会の企画・開催
職能集会の持ち方	1. 前年度活動報告 2. 本年度活動計画 3. 講演会またはシンポジウム 4. 意見交換
三職能合同委員会	1. 三職能共通課題の検討 2. 職能集会の開催 3. 職能集会資料の作成
そ の 他	日本看護協会 1. 千葉県看護協会助産師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会助産師職能委員会活動に協力 3. 都道府県職能委員長会議 年 2回 4. 地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会 年 1回
	印刷物等 1. 職能集会資料
	その他 1. 千葉県小児保健協会総会への参画

# 看護師職能委員会

委員長 寺口恵子

## I. 活動目標

1. 看護師職能が専門性を発揮しながらやりがいをもって働きつづけることができるよう看護師職能が抱える課題に取り組む。(母子保健に関する三職能連携)
2. 看護の質向上を図るため准看護師のスキルアップと進学を支援する。
3. 介護・福祉関係施設・在宅等領域と病院領域の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた検討を行う。

## II. 活動内容

### 1. 看護師職能集会 (三職能合同集会報告参照)

### 2. 看護師交流会

- (1) 日時 平成26年1月25日(土) 10:00~16:30
- (2) 会場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「医療・介護の制度政策を知り、高齢者の療養生活や終末期の生活を支える看護師の役割について考える」
- (4) ねらい 1. 超高齢化・多死社会に向けた、今後の看護・介護のあり方について理解を深める。  
2. 「看取り」「在宅医療」など、病院や介護施設における高齢者看護の質向上について考える機会とする。

(5) 参加者数 120名

(6) 内容

講演 「超高齢社会の医療・介護の制度政策とこれからの動向」  
～病院の機能分化と、地域包括ケアシステムについて～

講師 日本看護協会 常任理事 齋藤 訓子 先生

パネルディスカッション 『高齢者の療養生活と終末期を支える看護』

①急性期病院からの退院支援・退院調整事例 (病院で働く看護師)

「東邦大学医療センター佐倉病院」 看護相談室師長 林 弥生 氏

②在宅支援と終末期ケア (訪問看護ステーションで働く看護師)

「いこい訪問看護ステーション茂原」 夏目 昌信 氏

③介護老人保健施設での終末期ケア (老健で働く看護師)

「ロータスケアセンター」 久保 延子 氏

④特別養護老人ホームでの終末期ケア (特養で働く看護師)

「特別養護老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑」 大森 由子 氏

グループワーク

テーマ「それぞれの立場で、高齢者の療養生活・終末期を支える看護を提供するにはどうしたらよいか」

(7) 評価

昨年に引き続き第二弾として上記講師による超高齢社会のテーマを取り上げたが、参加動機として「テーマに興味がある」が58%と多く、Ⅰ領域・Ⅱ領域の参加者ともにタイムリーなテーマであったことが伺える。

齋藤理事による講演においては、超高齢化・多死社会に向けた今後の看護・介護の在り方について理解を深めることができた。

パネルディスカッションにおいては、Ⅰ領域・Ⅱ領域の立場から「看取り」「在宅医療」など、病院や

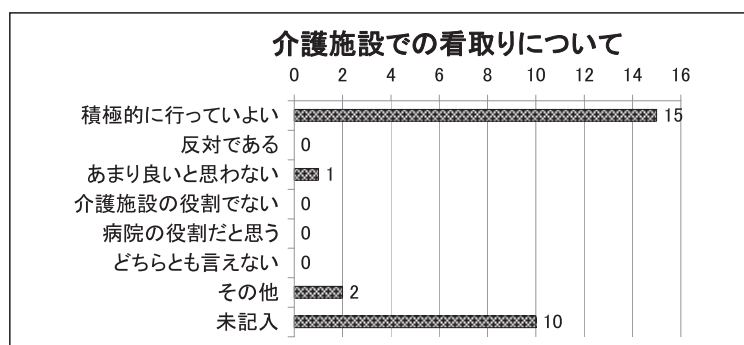
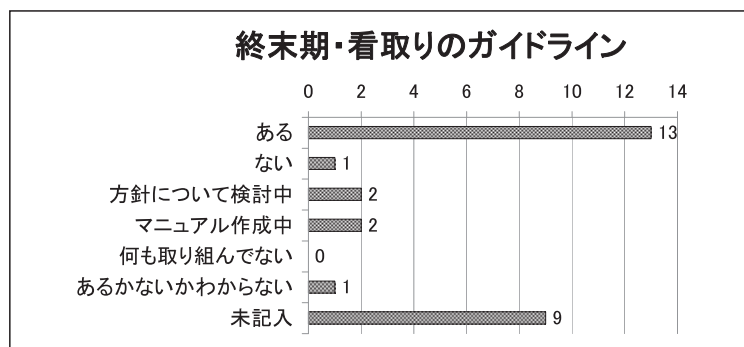
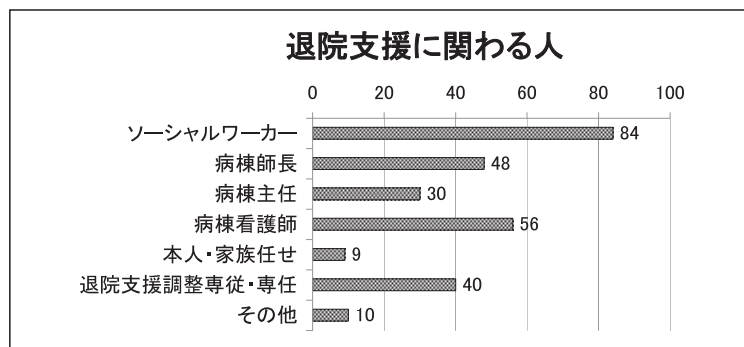
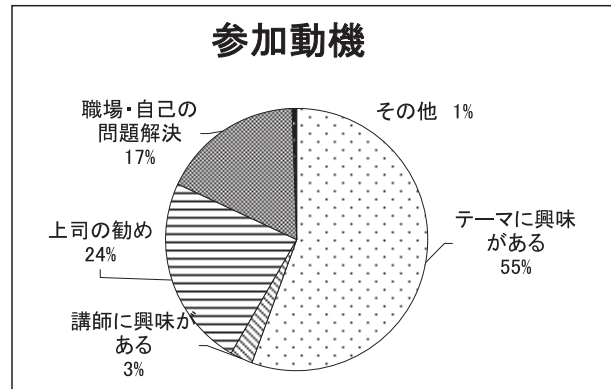
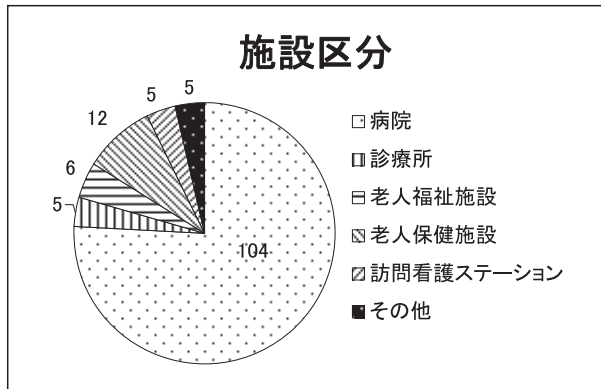
施設介護の現場の現状を知る事ができ、その後のグループワークに活かすことができた。

グループワークは領域ごとのグループ分けにした事で、より現実的な情報交換ができ参考になったため、明日からの自施設での行動に繋げることができそうとの意見が多かった。

それぞれの立場で高齢者の療養生活・終末期を支える看護を提供するにはどうしたら良いかについて活発な情報交換や意見交換ができ、高齢者看護の質向上について考えることができた。

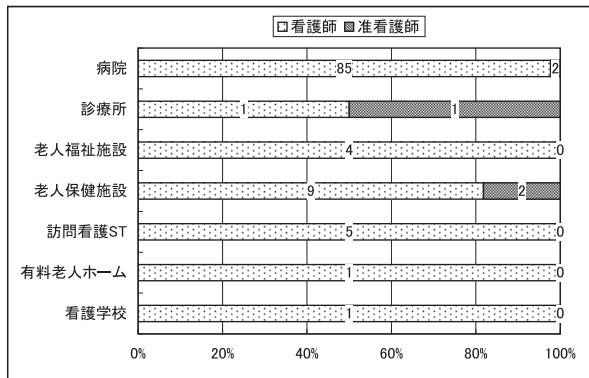
交流会後アンケート結果に表れている通りどの項目においても参加者の満足度は高かった。

事前アンケートより抜粋

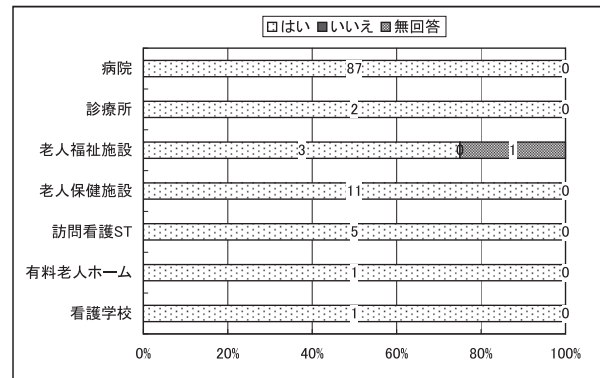


アンケート結果より抜粋 (111名 回収率92.5%)

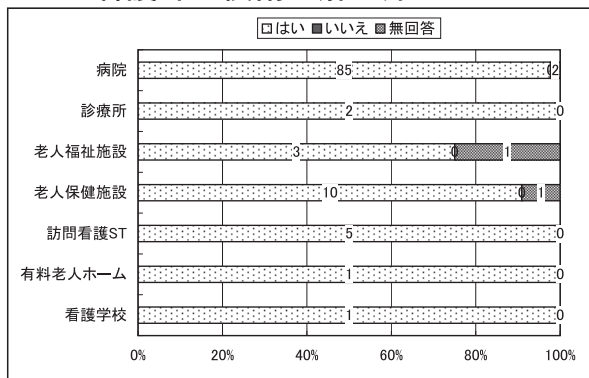
### 所属と職種 111名



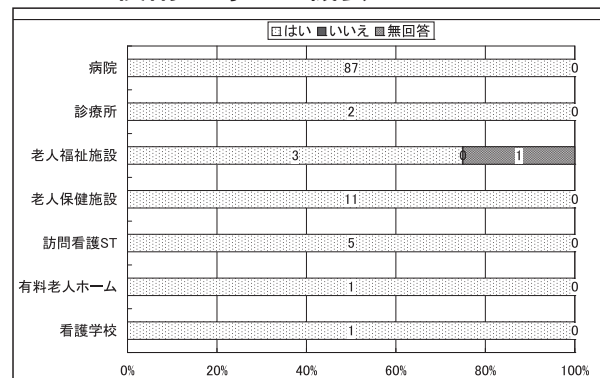
### 講演内容は参考となった



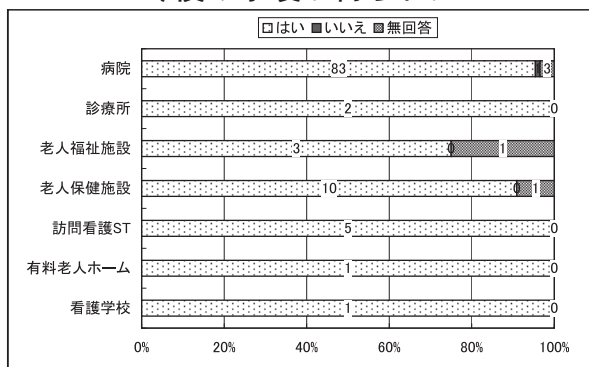
### 看護師の役割理解が深まった



### 役割を考える機会となった



### 今後の示唆が得られた



### 3. 准看護師交流会

- (1) 日 時 平成25年8月17日 (土) 13:00~16:30
- (2) 会 場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「准看護師のステップアップ」
- (4) ねらい ① 進学支援に必要な情報を提供し、進学への動機づけとする。  
② 日常の看護技術面についてスキルアップできる機会とする。
- (5) 参加者数 73名
- (6) 内 容  
講 演 テーマ：「呼吸・循環フィジカルアセスメント」 ~あなたの知識と五感をフル活用~  
講 師 帝京大学ちば総合医療センター 集中ケア認定看護師 平野 充 氏

## 学習体験報告

講師：東京衛生学園専門学校卒（通信制）

五香病院 長谷川 恵津子 氏

野田看護専門学校第二看護学科卒（全日制） 聖隷佐倉市民病院 松戸 友見 氏

グループワーク 「進学に関する課題」「課題をクリアするためには」「進学しよう」

### (7) 評価

フィジカルアセスメントの講演は、実際に隣同士で呼吸を観察するなど飽きない内容であった。また、異常呼吸の動画も織り交ぜ、大切なポイントは反復するなど非常に分かりやすかった。循環に関しては、図や写真も多くありイメージしやすい。また、循環不全時の簡単な観察ポイントなども実際の臨床で活用できるものであり非常に役立つ内容であった。

グループワークにおいては、各グループ活発な情報交換や意見交換があり、進学に対して前向きに考えようと決意を新たにした人も多と感じた。

### アンケート結果より抜粋（72名回収率98.6%）

#### (1) 講義内容は興味を持ってましたか

はい	69
いいえ	0
無回答	3

#### (2) 看護師養成所における学習体験報告は参考になりましたか

はい	63
いいえ	4
無回答	5

#### (3) 本日の交流会はこれからの進路を考える上で参考になりましたか

はい	63
いいえ	5
無回答	4

### 4. 千葉県看護協会における活動

通常総会、役員会、理事会、施設等会員代表者会議、地区部会長会等への参加

### 5. 日本看護協会における活動

通常総会、全国看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員長会、都道府県看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員長会、  
地区別都道府県看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員長会

### 6. 第37回千葉県小児保健協会



### Ⅲ 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成25年 7月5日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成25年度年間計画作成</li> <li>2. 三職能合同職能集会の検討</li> <li>3. 准看護師交流会の検討</li> <li>4. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成25年度年間計画の検討・作成</li> <li>• 委員の役割担当について</li> <li>• 准看護師交流会の詳細内容の検討</li> <li>• その他</li> </ul>
臨 時	8月16日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 准看護師交流会について</li> <li>2. 三職能合同集会について</li> <li>3. 看護師職能委員会からの会長への提言内容について</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 准看護師交流会最終打ち合わせ</li> <li>• 三職能合同集会進捗状況について</li> <li>• 看護師職能委員会からの会長への提言内容の検討</li> </ul>
第2回	9月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 准看護師交流会評価について</li> <li>2. 三職能合同職能集会について</li> <li>3. 看護師交流会について</li> <li>4. 看護師職能委員会からの提言について</li> <li>5. 今後の職能委員会の持ち方について</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 准看護師交流会の評価</li> <li>• 三職能合同職能集会打合せ報告、内容検討</li> <li>• 看護師交流会の検討</li> <li>• 看護師職能委員会からの提言内容の検討</li> <li>• 今後の職能委員会の持ち方について</li> </ul>
第3回	11月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三職能合同職能集会報告</li> <li>2. 看護師交流会について</li> <li>3. 各領域（Ⅰ・Ⅱ領域）次年度計画・課題について</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 三職能合同職能集会報告</li> <li>• 看護師交流会の検討</li> <li>• 各領域（Ⅰ・Ⅱ領域）次年度計画・課題の検討</li> </ul>
第4回	12月4日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師交流会について</li> <li>2. 次年度活動計画について</li> <li>3. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 看護師交流会の企画</li> <li>• 次年度活動計画の検討</li> <li>• その他</li> </ul>
第5回	平成26年 2月5日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師交流会報告</li> <li>2. 次年度活動計画について</li> <li>3. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 看護師交流会報告・評価</li> <li>• 次年度活動目標の検討</li> <li>• 職能Ⅰ・Ⅱ領域の今後の活動方法の検討</li> <li>• その他</li> </ul>
第6回	5月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度活動計画について</li> <li>2. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成26年度活動計画の検討</li> <li>• その他</li> </ul>

IV 平成26年度 看護師職能委員会 活動計画

項 目	内 容	
活 動 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能が専門性を発揮しながらやりがいをもって働きつづけることができるよう看護師職能が抱える課題に取り組む。</li> <li>2. 看護の質向上を図るため准看護師のスキルアップと進学を支援する。</li> <li>3. 介護・福祉関係施設・在宅等領域と病院領域の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた検討を行う。</li> </ol>	
委員会開催予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能委員会 年 6回 (I 病院領域・II 介護・福祉関係施設・在宅等領域)</li> <li>2. 三職能合同委員会 年 2回</li> </ol>	
検討事項及び方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能が働き続けられる職場づくりを推進する。</li> <li>2. 交流会をとおして准看護師のスキルアップと進学支援に対する課題を整理する。今後の交流会へのニーズ把握を行い企画へ反映する。</li> <li>3. 介護・福祉関係施設・在宅等に勤務する看護職が抱える課題を整理する。</li> </ol>	
交 流 会 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能集会 1回</li> <li>2. 看護師交流会 1回</li> <li>3. 高齢者施設看護管理者交流会 1回</li> <li>4. 第20回准看護師交流会 1回</li> </ol>	
職能集会の持ち方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度活動実績報告</li> <li>2. 本年度活動計画について報告</li> <li>3. 意見交換</li> <li>4. 講演会、シンポジウム等の開催</li> </ol>	
三職能合同委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三職能共通課題の検討</li> <li>2. 職能集会資料の作成</li> </ol>	
そ の 他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会看護師職能委員会の活動状況報告</li> <li>2. 日本看護協会看護師職能委員会の調査活動に協力</li> <li>3. 都道府県看護師職能委員長会 年2回</li> <li>4. 地区別法人会・都道府県看護師職能委員長会 年1回</li> </ol>
	印刷物等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職能集会資料</li> <li>2. 交流会資料</li> </ol>
	その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会事業への参加・協力</li> <li>2. 千葉県小児保健協会総会への参画</li> </ol>

# 三 職 能 合 同 委 員 会

## I 平成25年度 三職能合同委員会

### 1. 概要

保健師職能委員会・助産師職能委員会・看護師職能委員会共通の課題を検討するため、三職能合同委員会を開催した。

今年度は、母子保健法改正に伴い、病院・地域・市町村等の看護職の連携が一層重要になったことを踏まえ、三職能（保健師・助産師・看護師）の連携強化を進めるとともに、県民に対し、各職能の立場における医療・保健・福祉サービスの提供が図れるようにすることを目的に三職能合同集會を開催した。

### 2. 三職能合同委員会開催状況

回数	開催月日	活動内容
第1回	平成25年7月5日	議題 1. 平成25年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協会定款及び関連諸規定について (2) 協会組織機構図・組織運営図・事務局体制について (3) 事業計画について 2. 職能委員会活動について (1) 職能委員会の役割について (2) 職能委員会の開催手続きについて 3. その他
第2回	平成25年8月22日	議題 1. 三職能合同集會事前打ち合わせ (1) 参加者自己紹介 (2) 全体流れの確認

## II 活動内容

### 1. 三職能合同集會

(1) 日 時 平成25年9月21日（土）10：00～15：30

(2) 会 場 千葉県看護会館

(3) テーマ 「あなたの笑顔でハッピーに！」

～妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携～

(4) ねらい 人口構造や疾病構造の変化に伴い、健康問題の複雑・多様化など看護職を取り巻く環境は、大きく変化している中、母子保健法においては複数の事務が市町村へ移譲された。

母子保健法の改正に伴い、病院、地域、市町村等の看護職の連携が一層重要になったことを踏まえ、三職能（保健師・助産師・看護師）の連携強化を進めるとともに、県民に対し、各職能の立場における医療・保健・福祉サービスの提供が図れるようにする。

(5) 参加者数 76名

(6) 内 容

・平成24年度保健師・助産師・看護師職能委員会活動報告並びに25年度活動計画

・提言 「母子保健法の改正と看護職連携」

千葉県児童家庭課子育て支援室長 鈴木 麗子 氏

・パネルディスカッション 「妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携」

助産師の立場より 東京歯科大学市川総合病院 看護師長 響谷 順子 氏  
 小児科看護師の立場より 社会保険船橋中央病院 新生児科病棟看護科長 開保津貴子 氏  
 訪問看護ステーションの立場より 訪問看護ステーションあおぞら 所長 井川 夏実 氏  
 保健師の立場より 横芝光町役場 健康管理課 副主幹 土屋 裕子 氏

・講演 「愛と希望の看護～あなたの笑顔でハッピーに！～」

講師 テルモ株式会社 副社長 松村 啓史 氏

(7) 評価 三職能合同集会アンケート結果より抜粋 アンケート回収 76名 (回収率100%)

① 所属施設

保健所	政令市・中核市	市町村	企業・産業部門	病院
10	1	8	0	49
診療所	老人福祉施設	老人保健施設	訪問看護ステーション	その他
0	0	0	0	3

② 年代

20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
19	20	23	12	2

③ 経験年数 (年目)

1～5年目	6～5年目	10～19年目	20～29年目	30～39年目	40年目以上
18	11	14	18	7	1

④ 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
22	17	34	0	0

⑤ 参加動機 (複数回答可)

興味がある	仕事に活かせる	職場ですすすめられた	その他
35	27	33	1

⑥ 本日の保健師・助産師・看護師職能集会について伺います

ア「改正された母子保健法」について理解が深まりましたか

はい	いいえ
68	2

理由：

「はい」

- ・資料も具体的でわかりやすく示され、よく理解できた。(助)
- ・母子保健法の改正点について、整理することができた。(保)
- ・保健所の機能は、今後どのようにしていけばいいのか、考えさせられた。(保)
- ・県から市町村に移行された部分を詳しく聞け、メリット・デメリットも明確でわかりやすかった。(看)
- ・市町村への委譲、詳しく理解できました。(助)
- ・深く知る機会がなく、現状についても理解することができた。(看)
- ・あまり触れることがないため、話を聞いて興味を持てた。(看)

「いいえ」

- ・保健所から市町村に移ったということしかわからない。(看)

イ パネルディスカッションでは、妊娠・出産・育児期に養育支援を必要とする者への支援を、病院、地域、市町村などの看護職が連携を強化し、医療、保健、福祉のサービスの提供を図る必要性について、理解を深める機会となりましたか

はい	いいえ
71	0

理由：

「はい」

- ・現状（病院・地域）を理解できた。（助）
- ・最近地域支援を必要とするケースが増え、どう支援して地域につなげればよいか迷っていた。（助）
- ・各専門分野の方の立場4から、事例や職場での活動を聞かせていただき、イメージが付きやすかった。（看）
- ・障害のある児の訪問看護が実際どのように行われているかを知り、とても勉強になった。（看）
- ・地域での具体的活動・支援が分かり、もっと活用していきたい（看）
- ・個々の職種の立場から聞くことで、改めて連携の必要性があると思えた。（保）
- ・10年以上前に小児科病棟に勤務していましたが、当時の事例を思い出しながら聞いていた。当時より支援体制が整ってきていると思った。在宅がかなわず、長期入院のケースもあったため、希望のあるディスカッションであった。（看）
- ・在宅医療の移行期に、訪問看護導入を提案したが、母親は手技をマスターしたから今は訪問看護の導入を希望していないという事例があった。改めて、訪問看護の意義を医療機関や家族に伝えていけると思った。（保）
- ・当院は小児科があるので健常児だけでなく、様々な小児を診察している。診療を通じて他職種や地域との連携を考えていければと思う。できることから始めることが大切かなと考える。（看）

ウ 上記は、業務に活かせる内容でしたか

はい	いいえ
63	5

理由：

「はい」

- ・地域と連携が必要なケースが増えてきているので、考えていかなければならないと思った。
- ・今度妊娠期の支援の必要な患者さんに対しても地域につなげていきたい。
- ・医療機関との連携をどのようにしていったらよいか考えていたところだったので、パネルディスカッションを聞いてヒントがもられたように思う。
- ・妊産婦、児が地域へ安全に帰るために、職場に持ち帰り、知識を広めていきたいと思う。
- ・連携をとることで可能となる事例が聞けて良かった。
- ・現在産後の母について、連絡票を使用する例は多くあるが、妊娠中から連携については全くできていない。まず施設内での状況整理し（例えば助産師外来の機会を増やすなど）、地域と協力して支援したいし、その必要があると感じた。
- ・病院勤務だが、地域と連携しているため、患者本人の訴えを聞いてSWと協力して関わってほしいと思う。（看4）
- ・病院や訪問看護との連携をより密にしていきたい。（保）
- ・今後障害のある児の育児支援、その他の育児支援の必要な母親の支援のことも考えるよい機会となった。（看）
- ・今まで地域に継続ケアを依頼することがありましたが、具体的な活動内容を知ることで、安心し

て今後も依頼していきたいと思いました。(看)

「いいえ」

- ・連携が重要であることはよく理解できたが、具体的にどうしたらうまく連携をとることができるのかが知りたかった。

エ 講演は、笑顔でハッピーになる内容でしたか

はい	いいえ
70	0

理由：

「はい」

- ・とても面白かった。時間内に内容も盛り沢山で、勉強になりました。(保)
- ・とても素晴らしい講演を聞くことができ、元気をもらえた。また、ぜひ聞きたい。
- ・ずっと笑いで、疲れが取れました。(看)
- ・話の4楽しさに笑顔になり、元気をもらったのはもちろん、職場でも役に立てることのできる内容で、最高でした。(看)
- ・内容も楽しかったうえに、人生に必要なポイントが含まれていて身に染みしました。
- ・先生のお話を聞いただけで、ハッピーになれました。楽しく仕事をしようと思いました。(看)
- ・たくさん笑わせていただきました。人を喜ばせる人に！私も笑顔で安心してもらえるような看護師になりたいと思いました。(看)
- ・人を支援するのはまず自分がハッピーな気持ちでいられるようにしていきたいと思う。いつも行っている業務も見方を変えたり、変化させながらより良いものにしていきたいと思った。
- ・4つの法則を見て、最近「ぐち」が多くなっている自分は中途半端になってきているかもしれないと感じました。整理整頓して、集中で頑張りマス！
- ・考え方、味方かえると楽しさにつながり、仕事にも前向きになれると知った。職場の仲間、家族を大切にしようと思う。
- ・日頃の生活に転がっている幸せを見た気がします。

オ 職能集会全体を通しての感想やご意見がありましたらご記入下さい。

- ・一人の患者を通して連携していくことが、大切だと思った。そのためには、コミュニケーションが大切だと思った。(看・2年目)
- ・委員の方をはじめ協会として、それぞれの職能の方が、問題意識をもって、熱心に取り組んでいることが伝わる会でした。期待しています。(助)
- ・三職能合同に集まることで、連携することの大切さを学んだ。(保)
- ・三職能合同研修を企画していただき、より多くの看護職の看護職の意識を高めていけたらよいと思う。(保)
- ・今回三職能合同集会 初参加でした。プログラムがとてもよかったです。
- ・とても楽しく、身のある集会でした。三職能が集まる機会がなかなかないので、このような機会を増やしてもらえてうれしいです。(看)
- ・自分の知らない地域での動きが分かり、勉強になった。(看)
- ・看護協会のこのような会に初めて参加させていただきました。Ⅱ領域(介護・福祉関係・在宅)の経験は浅いですが、期待されていることも感じました。自分の現場で頑張りながら、看護師として広い視野で知識を得るよいと研修となりました。(看・非会員)
- ・この集会と継続する内容の勉強会や地域連携のための勉強会を続けていきたい。(助)
- ・午前中は、職能別でよいと思った(保)

- ・三職能が集まってとてもよかった。今度はGWなど他職種の方たちと直接話をしたい。
- ・横芝光町の土屋様が提言された地区での三職能集会はできたらよいと思う。
- ・内容も濃密で興味深かったが、全体の時間が押してしまったのが、残念だと思った。
- ・ディスカッションの時間が短くて残念だった。せっかくの機会なので各職能での交流がこれからもてるようにしてほしい。

# 日本看護協会関係報告

会長 松永敏子

## 全国及び都道府県別法人会報告

### I 法人会員会（全国）

#### 1 平成25年度 第1回法人会員会

日時 平成25年5月10日(金) 15:00~16:00  
場所 青山ダイヤモンドホールB1  
サファイアルーム  
議題 (1) 今年度の法人会について

#### 2 平成25年度 第2回法人会員会

日時 平成25年7月24日(水) 14:30~16:00  
場所 JNAホール  
議題 (1) 平成25年度地区別法人会員会・職能  
委員長会プログラムについて  
(2) 「入会申込書・継続申請書」及び  
「会員継続申請書について」  
(3) 代議員管理システム運用スケジュール  
について  
(4) 看護サミットについて  
(5) その他

#### 3 平成25年度 第3回法人会員会

日時 平成25年9月18日(水) 15:00~16:00  
場所 JNAホール  
議題 (1) 看護サミットについて  
(2) 平成26年度 代議員の手引きについて  
(3) 平成25年度地区別法人会プログラム  
について

#### 4 平成25年度 第4回法人会員会

日時 平成25年11月28日(木) 15:30~16:00  
平成25年11月29日(金) 15:00~16:00  
場所 JNAホール  
議題 (1) 会員情報管理体制について  
(2) 今後の日本看護サミットについて(案)

#### 5 平成25年度 第5回（臨時）法人会員会

日時 平成26年1月23日(木) 13:00~16:00  
場所 JNAホール  
議題 (1) 新たな財政支援制度（基金）について  
(2) 特定行為に係る看護師の研修制度に  
ついて  
(3) その他

#### 6 平成25年度 第6回法人会員会

日時 平成26年2月28日(金) 15:00~16:00  
場所 JNAホール  
議題 (1) ナースセンター事業について  
(2) 新たな財政支援制度(基金)について  
(3) その他

### II 地区別法人会員会（関東甲信越地区） 〈法人会員連絡会〉

日時 平成25年10月17日(木)  
法人会員連絡会（9:30~13:15）  
法人会員会(13:30~18:00)

場所 ホテル東日本宇都宮

議題  
法人会員連絡会  
各法人会員間の情報交換・連絡調整  
法人会員会  
(1) 「看護の将来ビジョン」の概要案について  
(2) 「会員情報管理体制改善」の検討について  
(3) 地域包括ケアシステム構築における都道府県協  
会の関わり  
(4) 特定行為に係る看護師の研修制度について  
(5) ナースセンターの機能強化について



## 全国職能委員長会報告

### 全国職能委員長会

#### 1 平成25年度 第1回全国職能委員長会

日 時 平成25年8月2日(金)10:00~16:00

場 所 青山ダイヤモンドホール

〈全体会〉10:00~16:00(ダイヤモンドルーム)

報告事項

- (1) 「看護の将来ビジョン」策定の進捗状況について
- (2) 「看護師等専門職における公的保険外サービス提供可能性調査」について
- (3) 「特定行為に係る看護師の研修制度(案)」の議論の進捗及び本会の活動について
- (4) 都道府県看護協会とのグループメールの運用について

### 職能委員長会

#### 〈保健師職能委員長会〉

(エメラルドルームⅠ) 11:30~16:00

- (1) 平成25年度委員会活動及び保健師関連事業について

日本看護協会保健師職能委員長 中板育美

- (2) 講演 「保健師活動指針の普及と国の動向」  
厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室長 山田 敏充 氏

- (3) 情報提供  
「先駆的保健活動交流推進事業 市町村保健活動のあり方に関する検討」  
日本看護協会 健康政策部保健師課

橋本 結花 氏

- (4) グループ討議  
「新たな保健師活動指針の活用・推進に向けて、どのように戦略的に動くのか、動かすのか」

#### 〈助産師職能委員長会〉

(エメラルドルームⅡ) 11:30~16:00

- (1) 「助産師職能委員会 活動マニュアル」について
- (2) 平成25年度重点政策・重点事業(助産関連)について
- (3) 助産ビジョン(案)について
- (4) 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)活

用ガイドについて

「日本のお産を守れ!プロジェクト」の全国的な推進に関する検討委員会

委員長 井本 寛子 氏

- (5) グループ討議  
「自施設にあった助産師のクリニカルラダー作成に向けた課題検討」  
ファシリテーター:助産師実践能力強化支援に関するワーキングメンバー

#### 〈看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉

(サファイアルームⅠ) 11:30~16:00

- (1) 平成25年度看護師職能委員会Ⅰ  
病院領域活動方針について
- (2) 情報提供「地域包括ケアシステム実現に向けて~どう生きたいに寄り添う~」

在宅ケア移行支援研究所

宇都宮宏子オフィス 代表 宇都宮 宏子 氏

- (3) グループ討議  
「病院で働く看護職が患者の在宅療養を支援するためにできること」

#### 〈看護師職能委員長会Ⅱ介護・福祉関係施設・在宅等領域〉

(サファイアルームⅡ) 11:30~16:00

- (1) 平成25年度重点政策・重点事業
- (2) 平成25年度活動方針について
- (3) 関連事業報告
- (4) 講演「他団体との連携における『体系的な研修プログラム』の活用事例の紹介」

講 師 看護師職能委員会Ⅱ委員

朝野 愛子 氏

地区別グループ討議(情報交換)

テーマ

「『体系的な研修プログラム』の実質的活用に向けた他団体との連携方法について」

#### 2 平成25年度 第2回全国職能委員長会

日 時 平成26年3月7日(金)10:00~16:00

場 所 青山ダイヤモンドホール

〈全体会〉10:00~12:00

議 題

- (1) 平成25年度重点政策・重点事業報告及び平成26年度重点政策・重点事業について
- (2) 医療法の改正について
- (3) 介護保険法の改正について
- (4) 診療報酬の改定について
- (5) 「会員情報管理体制改善」検討の進捗状況について

〈全国保健師職能委員長会〉

(エメラルドルームⅠ) 13:00~16:00

議 題

- (1) 平成25年度保健師職能委員会活動報告
- (2) 平成26年度保健師関連事業及び保健師職能委員会活動方針
- (3) 実践発表及び意見交換
- (4) 「保健師活動指針の活用推進に向けた都道府県看護協会の取り組み」
- (5) グループ討議  
「都道府県において保健師の連携強化とネットワークの推進を図るために」  
(保健師関連事業、平成25年度の成果や次年度実施予定の基礎調査等を有効活用しながら、いかに保健師の連携強化ができるのか。)

〈全国助産師職能委員長会〉

(エメラルドルームⅡ) 13:00~16:00

議 題

- (1) 平成25年度助産師職能委員会活動報告
- (2) 平成26年度助産関連事業計画について
- (3) 助産師職能委員会 活動方針
- (4) 「妊産婦及び女性に向けたWebアンケート」結果の報告
- (5) グループ討議「産科混合病棟におけるユニットマネジメント」

〈全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉

(サファイヤルームⅠ) 13:00~16:00

議 題

- (1) 平成25年度看護師職能委員会Ⅰ病院領域 活動報告
- (2) 平成26年度看護師職能委員会Ⅰ病院領域の活動方

針について

- (3) 「労働と看護の質向上のためのデータベース事業の構築について」  
日本看護協会 常任理事 松月みどり 氏
- (4) 「病院で働く看護職が患者の在宅医療を支援するために行う活動に関するヒアリング報告」
- (5) グループ討議  
「地域における医療・看護の活性化のために、病院で働く看護職が取り組むべき課題」

〈全国看護師職能委員長会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域〉

(サファイヤルームⅡ) 13:00~16:00

議 題

- (1) 平成25年度看護師職能委員会Ⅱ  
介護・福祉関係施設・在宅等の領域の報告  
・「介護施設における看護職員のための系統的な研修プログラム」の実質的な活用について」  
・「看取りケア研修プログラムについて」
- (2) 関連事業報告
- (3) 平成26年度重点政策・重点事業（在宅看護関連）について
- (4) 平成26年度看護師職能委員会Ⅱ  
介護・福祉関係施設・在宅等領域の活動方針について
- (5) 「介護施設における看護職のための系統的な研修プログラム」の活用事例報告  
(兵庫県看護協会・愛媛県看護協会)
- (6) グループ討議  
「地域で認知症の人を支えるための病院と地域の連携・協働について」

## 関東甲信越地区別・都道府県職能委員長会報告

### 関東甲信越地区別・都道府県職能委員長会報告

#### 平成25年度 地区別職能委員長会

日 時 平成25年10月18日（金）9：00～15：00

場 所 ホテル東日本宇都宮

#### 各職能委員長会

##### 〈保健師職能委員長会〉

報告事項 職能委員会報告

協議事項

- (1) 保健師活動指針の活用・推進に向けた取り組みについて
- (2) 保健師人材の育成の現状や課題について

##### 〈助産師職能委員長会〉

報告事項 職能委員会報告

協議事項

- (1) 「産科混合病棟ユニットマネジメント導入の引きについて
- (2) 「助産ビジョン（案）」について

##### 〈看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉

報告事項 職能委員会報告

その他 概算要求における新人看護師臨床研修制度の予算削減について

協議事項

1. 地域における医療・看護の活性化のために、病院で働く看護職が取り組むべき課題に関する情報交換
2. 急性期病院における看護補助者の活用に関する情報交換
3. その他

##### 〈看護師職能委員長会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域〉

報告事項 職能委員会報告

関連事業報告

- (1) 平成25年地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会
- (2) 地域における訪問看護のネットワーク強化事業について
- (3) 情報提供 社会保障制度改革国民会議報告書に

ついて

協議事項

- (1) 平成25年度都道府県看護協会看護師職能委員会領域Ⅱ活動に関する情報交換と課題整理
- (2) 「介護施設における看護職のための系統的な研修プログラム」の活用に向けた都道府県看護協会の行動計画の作成
- (3) 看取りケア研修プログラムに必要な内容の検討

# 常任委員会及び推薦委員会報告

## 教 育 委 員 会

委員長 増渕 美恵子

### I 活動のまとめ

<p>諮問事項</p>	<p>「質の高い看護を提供するための生涯教育のあり方」、副題「超高齢社会を見据えた看護問題に対応できる生涯教育のあり方」について</p>
<p>現状と課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成25年度の生涯教育研修計画と目標達成状況の評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯教育研修計画および諮問事項に沿って研修評価を行う。</li> <li>・昨年度より持ち越しとなっていた、研修評価の指標および研修ニーズの把握について検討が必要である。</li> <li>・次年度の研修計画案を提示する。</li> </ul> </li> <li>2. 生涯教育の理念・目的・目標について <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より持ち越しとなっている生涯教育の概要（理念・目的・目標）について諮問事項を踏まえて検討が必要である。</li> <li>・あわせて生涯教育の3つのカテゴリーについて、分類ならびにカテゴリー名についても検討する。</li> </ul> </li> <li>3. 千葉県看護研究学会の位置づけについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度定時総会要綱看護研究学会委員会活動まとめの中に、教育委員会との統合を諮る旨記載があったことから、看護研究学会のあり方について検討していく。</li> </ul> </li> <li>4. 諮問事項に対する委員会の提言 <ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問事項「質の高い看護を提供するための生涯教育のありかた」、副題「超高齢社会を見据えた看護問題に対応できる生涯教育のあり方」についての提言をまとめる。</li> </ul> </li> </ol>
<p>検討内容</p>	<p>〔検討内容・過程〕 〔委員会開催状況：6回開催（別紙に詳細を記載）〕</p>
<p>検討結果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成25年度の生涯教育研修計画と目標達成状況の評価及び平成26年度の生涯教育研修計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の研修は、トピックスを除く予定された計画が遂行され、目標は達成された。</li> <li>・平成26年度の生涯教育研修計画は、55コース計画された。</li> <li>・平成25年度生涯教育研修計画を基に、各研修内容を教育目標と照らし合わせて評価し、研修が妥当であることを確認した。</li> <li>・評価指標については、協会員の教育ニーズを軸に、需要(研修計画への反映)と供給(研修の満足度)といった量の側面から評価することとなった。</li> </ul> </li> <li>2. 生涯教育の理念・目的・目標について <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢の変化に対応した内容かどうか、他都府県の理念・目的・目標を参考に検討した。千葉県看護協会の理念・目的・目標については抽象的な表現を用いているものが多いので、多くの意味を読み込むことができるため、大幅な修正はせず一部表現を修正して案を提示した。</li> </ul> </li> <li>3. 千葉県看護研究学会の位置づけについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・演題提出者全員が発表できることや、看護研究支援を受けられることから、研究発表の登竜門的な位置づけで良いことを確認した。</li> <li>・テーマについてのキーワードの提示、特別講演の講師を推薦した。</li> <li>・具体的な活動に際しては、看護研究実行委員会等を立ち上げて行なう。</li> </ul> </li> </ol>

<p>検討結果</p>	<p>4. 諮問事項に対する委員会の提言</p> <p>看護師に求められる能力は、病院を始めとした施設や在宅における様々な場面の中で、健康問題に対応する判断能力である。それを可能とするために、看護師のキャリアを育成する教育の仕組みや内容が必要であり、協会・行政・施設間での役割分担が必要である。</p> <p>そこで教育委員会では、千葉県看護協会が提供する生涯教育の指針として、①施設・在宅療養に関連した教育計画の充実、②看々連携を踏まえた他種職との研修、③継続テーマのトピックス研修、④研修カリキュラム検討委員会の創設、⑤中長期計画に基づいた段階的な教育計画、⑥医療計画との連動等、を考え、諮問事項の答申とした。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>教育計画全体の課題として以下の内容が課題として挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアを育成するためにステップアップ研修の順序性が不明瞭であることや資格修得研修を提供する指針を再考する必要がある</li> <li>・千葉看護協会の教育計画は、日本看護協会の様な受講者の看護実践能力に応じた学習段階の設定とはなっていない。ラダーに基づく活用については、ラダーの周知との関係があるため、今後の検討とする。</li> </ul>

## II 委員会開催状況

回数	開催月日	議題	内容
第1回	平成25年 5月22日	1. 平成25年度委員会活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度事業計画（案）および平成25年度研修計画内容を確認し、諮問事項を踏まえ、生涯教育の概要（理念・目的・目標・カテゴリ一名）について、案を提言できるように検討すること全員で確認した。</li> </ul>
第2回	7月29日	1. 平成25年度委員会活動方針の確認と活動計画の検討  2. 千葉県看護研究学会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回より新メンバーとなったため、事務局より教育委員会における諮問事項について説明があり、全員で確認した。諮問事項の提言に向けた活動計画案を作成した。</li> <li>・平成24年度定時総会要綱看護研究学会委員会活動まとめの中に、教育委員会との統合を諮る旨記載があった。これを踏まえ、看護研究学会のあり方を検討してくことを確認した。第32回看護研究学会でのテーマについてキーワードを提示した。</li> </ul>
第3回	9月26日	1. 千葉県看護協会の生涯教育の概要の検討  2. 平成25年度事業評価に基づく研修評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修が教育目標を含んだ内容になっていることを確認した。理念・目的・目標が社会情勢の変化を反映しているかどうか検討した。</li> <li>・研修評価の視点について意見交換した。千葉県が求める人材と研修内容の整合性について、研修参加状況、地区部会での研修ニーズのサーチ等を参考に検討していく。</li> </ul>

回数	開催月日	議 題	内 容
第4回	11月28日	1. 千葉県看護協会の生涯教育の概要の検討  2. 千葉県看護研究学会のあり方についての検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>他都府県の教育概要を参考に理念・目的・目標について検討した。全体的な方向性は良いが、表現の解釈に幅を持たせるか、具体化するか、継続検討していく。また、表現を一部修正した案を提示した。</li> <li>各施設での学会の活用状況について共有し、研究発表の登竜門的な位置づけでよいことを全員で確認した。第32回看護研究学会の特別講演講師を推薦した。</li> </ul>
第5回	平成26年 1月23日	1. 平成26年度生涯教育研修計画(案)について  2. 諮問事項についての今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度研修計画は、52コースを予定。参加希望者が多い「No.5実習指導者講習会」定員40名→60名程度に増員するよう答申した。</li> <li>①生涯教育研修計画の評価指標については、質の側面からの評価は困難であることから、協会の教育ニーズを軸に、需要(研修計画への反映)と供給(研修の満足度)といった量の側面から評価することとなった。②諮問事項の「超高齢社会を見据えた看護問題に対応できる生涯教育」を考えるための視点として、『千葉県保健医療計画』の基本理念、『日本看護協会継続教育の基準』の今日的課題を基に看護師に必要な能力を検討し、指針を示すこととなった。</li> </ul>
第6回	2月27日	1. 平成26年度生涯教育研修計画(案)について  2. 事業実績のまとめ・諮問事項に対する提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>26年度生涯教育研修計画は、最終的に55コースとなった。また、教育目標(2)「研究的・科学的思考能力を高める」に修正した旨の報告がなされた。</li> <li>施設・在宅における様々な場面での健康問題に対する看護師の判断能力が必要となる。そこで、①施設・在宅療養に関連した教育計画の充実、②看々連携を踏まえた他種職との研修、③継続テーマのトピックス研修、④研修カリキュラム検討委員会の創設、⑤中長期計画に基づいた段階的な教育計画、⑥医療計画との連動等、行なうことを指針として纏めた。</li> </ul>

# 労働環境改善委員会

委員長 平山 真理子

## I 活動のまとめ

<p>諮問事項</p>	<p>働き続けられる職場環境を推進するための戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新人常勤看護職員と常勤看護職員の離職率の低減</li> <li>②多様な勤務形態導入施設の増</li> <li>③潜在看護職員の掘り起こし</li> </ul>
<p>現状と課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新人常勤看護職員と常勤看護職員の離職率の低減              新人看護職は、社会人経験の有る者となない者が混在し、年齢も幅広くなっている。教育体制やメンタルヘルスの支援体制の整備不足、更に組織風土になじめない等から離職に繋がっている。教育体制の整備やメンタルヘルスに対する看護管理者の理解と支援体制の構築、更には組織風土の改革が急務と考える。また、常勤看護師の離職理由として、雇用者と看護管理者が個々の看護職が働ける条件に対して、調整や対応ができない事から離職に繋がっていると予測される。個々の看護職が働ける条件に対応できる体制の整備と、働きやすい職場の風土作りが重要である事から、雇用者や看護管理者の意識の改革が必須と考える。看護管理者を対象に、WLBの取組や職場環境の改善、メンタルヘルスに関する研修会を開催しWLBの理解と知識の普及が重要と考える。</li> <li>2. 多様な勤務形態導入施設の増              多様な勤務形態導入施設の増加を図る事を目的にWLB推進事業を開始した。3年間WLB推進事業を実施してきたが、多様な勤務形態を導入している施設は少ない。多様な勤務形態を導入する為には、看護管理者と事務局職員が事業の目的や各種制度を理解する事が必須である。健康福祉部と看護協会が共催し、多様な勤務形態を導入している施設の成功事例を紹介する等、研修会を開催しWLB推進事業の理解と知識を普及する事が必要である。</li> <li>3. 潜在看護職の掘り起こし              潜在看護職が復職する際に、紹介業者を介して就職活動をする者も多く、ナースセンターが広く認知されていない事が予測される。また、潜在看護師が復職する際に抱く不安は、医療・看護の最新情報を得ていない事や、知識や技術面の遅れである。復職する為の情報提供や知識や技術を習得できるような支援が必要と考える。更に、潜在看護職が勤務可能な条件と雇用側が希望する条件の乖離があり、雇用に繋がらない。雇用者の意識改革と多様な勤務形態導入の推進が必要と考える。</li> </ol>
<p>検討内容</p>	<p>3つの諮問事項に対して具体的な方法について検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新人常勤看護職員と常勤看護職員の離職率の低減（第1回6/27、第2回8/28、第3回11/13）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・離職理由と離職防止対策の具体的な検討                  (教育体制の整備、メンタルヘルス対策、WLB推進、新人看護師の退職理由、常勤看護師の退職理由と実態調査の検討、育児休業者の復帰しやすい風土作り、看護管理者対象の研修実施)</li> </ul> </li> <li>2. 多様な勤務形態導入施設の増（第3回11/13、第4回12/4）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度看護協会の定着確保動向調査から多様な勤務形態導入状況を確認</li> <li>・多様な勤務形態を導入している施設の情報共有</li> <li>・取り組みを推進する為の検討</li> </ul> </li> <li>3. 潜在看護職の掘り起こし（第5回2/12）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在看護職への看護師不足の現状をアピール</li> <li>・ナースセンターの広報の在り方の検討</li> <li>・ハローワークとの連携の在り方</li> <li>・地区での就業相談</li> <li>・復職するためにどのような支援が必要か</li> </ul> </li> </ol>